

令和2年度進行管理・評価シート
長野市歴史的風致維持向上計画（平成25年4月11日認定）
（最終変更 令和2年3月24日）

□進捗評価シート(様式1)

| | |
|----------------------------------|----|
| ①組織体制(様式1-1) | |
| 1 歴史的風致の維持及び向上に向けた連携並びに推進体制 | 1 |
| ②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2) | |
| 1 長野市景観計画との連携 | 2 |
| 2 長野市屋外広告物条例との連携 | 3 |
| 3 長野市伝統環境保存条例との連携 | 4 |
| 4 長野市伝統的建造物群保存地区保存条例との連携 | 5 |
| ③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3) | |
| 1 無形文化財支援事業 | 6 |
| 2 歴史的資源活用コーディネーター派遣事業 | 7 |
| 3 伝統芸能継承事業 | 8 |
| 4 空き家バンク事業 | 9 |
| 5 善光寺周辺地域道路美装化事業 | 10 |
| 6 善光寺周辺地域電線類地中化事業 | 11 |
| 7 戸隠地域建造物修理修景助成事業 | 12 |
| 8 戸隠地域道路美装化・電柱電線類移設・歩道整備事業 | 13 |
| 9 弥栄神社の御祭礼屋台巡行支援事業 | 14 |
| 10 戸隠茅場整備事業 | 15 |
| 11 城山公園再整備事業 | 16 |
| 12 善光寺保存活用推進事業 | 17 |
| 13 戸隠神社奥社社叢保存活用推進事業 | 18 |
| 14 松代地域道路美装化事業 | 19 |
| 15 伝統環境保存事業 | 20 |
| 16 旧横田家住宅保存整備事業 | 21 |
| 17 旧文武学校保存整備事業 | 22 |
| 18 松代町文化財保存活用推進事業 | 23 |
| 19 旧松代駅舎保存活用事業 | 24 |
| 20 松代城跡東側駐車場整備事業 | 25 |
| 21 北国街道松代道周辺文化財等周遊道路整備事業 | 26 |
| 22 史跡大室古墳群保存整備事業 | 27 |
| 23 旧信濃川田駅保存活用事業 | 28 |
| 24 松代歴史文化の発信・誘客事業 | 29 |
| 25 川田宿PR活用事業 | 30 |
| 26 史跡松代城跡保存整備事業 | 31 |

| | | |
|--|-------|-----------|
| 27 大室古墳群アクセス道路整備事業 | | 32 |
| 28 真田信之霊屋保存修理事業 | | 33 |
| 29 松代町文化財美観向上推進事業 | | 34 |
| 30 「彫工北村喜代松」制作の屋台等保存・ 公開活用事業 | | 35 |
| 31 鬼無里地域の伝統的な祭礼等PR事業 | | 36 |
| ④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4) | | |
| 1 文化財の保存(文化財調査・指定、保存 管理(活用)計画等)について | | 37 |
| 2 文化財の保存整備(修理、修景、復元等) について | | 38 |
| 3 文化財の防災に関する取り組みについて | | 39 |
| 4 文化財の周辺環境の整備について | | 40 |
| 5 文化財の保存及び活用の普及、啓発に ついて | | 41 |
| ⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5) | | |
| 1 善光寺が防災に力 設備の更新・ 新導入へ 他 | | 42 |
| ⑥その他(効果等)(様式1-6) | | |
| 1 善光寺仁王門前の歩行者通行量 | | 44 |
| 口法定協議会等におけるコメントシート(様式2) | | 45 |

評価軸①-1
組織体制

| | | |
|---------------------------|---|-------|
| | 評価対象年度 | 令和2年度 |
| 項目 | 現在の状況 | |
| 歴史的風致の維持及び向上に向けた連携並びに推進体制 | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |

計画に記載している内容

①地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律第11条に基づき、有識者等で構成される「長野市歴史的風致維持向上協議会」を計画策定後も引き続き設置し、本計画の推進・変更に関して様々な提案・意見等を得ることとする。

②歴史的風致の維持及び向上を目的とした庁内全体の連携体制を構築するために、関係各課の担当者によって構成される「歴史まちづくり推進会議」を適宜開催し、情報共有や問題点の抽出等を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

「長野市歴史的風致維持向上協議会」を2回開催し、計画事業の進行管理・評価及び計画変更案などについて協議して計画内容、実施内容に対する幅広い意見をいただいた。

また、計画事業の関係部局を対象に「歴史まちづくり推進会議」を2回開催した。会議において各事業の進捗状況の確認及び事業実施に向けて解消すべき課題を共有し、庁内全体の連携体制を強化することができた。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

1 長野市歴史的風致維持向上協議会の開催

- 第1回 令和2年8月7日(金)
- 議題 (1) 令和2年度の歴史的風致維持向上計画事業について
- (2) 中間評価シートについて及び中間評価を踏まえた今後の事業展開について
- (3) 長野市歴史的風致維持向上計画の進行管理・評価の実施について
- (4) 歴史的風致活用国際観光支援事業について



第1回歴史的風致維持向上協議会(R2.8.7)

- 第2回 令和3年2月22日(月)
- 議題 (1) 長野市歴史的風致維持向上計画の進行管理進捗評価について
- (2) 長野市歴史的風致維持向上計画の変更について
- (3) 原稿計画の課題整理と次期計画に向けた検討について
- (4) その他

2 歴史まちづくり推進会議(庁内会議)の開催

- 第1回 令和2年7月14日(火)
- 議題 (1) 長野市歴史的風致維持向上計画の概要、今後の事業計画について
- (2) 中間評価の結果及び今後の事業展開について
- (3) 歴史的風致維持向上計画に係る国の支援事業について
- (4) 令和2年度第1回長野市歴史的風致維持向上協議会の開催について



第1回歴史まちづくり推進会議(R2.7.12)

- 第2回 令和3年2月12日(金)
- 議題 (1) 令和2年度 第2回長野市歴史的風致維持向上協議会の開催について
- (2) 長野市歴史的風致維持向上計画の進捗評価について
- (3) 長野市歴史的風致維持向上計画の変更について
- (4) 次期計画の策定について

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

| 項目 | 評価対象年度 | 令和2年度 |
|-------------|--------|--|
| 長野市景観計画との連携 | | 現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 |

計画に記載している内容

＜重点区域＞
 ○善光寺周辺
 重点区域内において、歴史的風致の維持及び向上のために、景観計画と連携しながら、景観計画上の重点地区に設定するなど、地域の特性に応じたよりきめの細かい景観の誘導を検討していく。
 ○戸隠
 本計画において、戸隠五社や中社・宝光社の宿坊を中心とした独特の集落を含む一帯が重点区域に設定されたことから、今後は、この重点区域内を対象に、より詳細な景観の誘導を行うための検討を行っていく。
 ○松代
 重点区域内の特徴的なまちなみを活かすためにも、地域の特性に応じた景観形成基準の設定等を検討していく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

景観計画担当部局との連携協議を実施した。
 平成19年に策定した「長野市景観計画」(H30.10改定)に基づき、対象となる規模の新築・増築・改築等について届出義務を課し、高さや彩色等について誘導している。
 重点区域内における景観計画に基づく行為の届出件数 令和2年度実績:2件

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

景観計画担当部局と連携協議を実施
 第1回 令和2年11月12日(木)
 協議内容 (1) 第2期長野市歴史的風致維持向上計画の策定に対する考え方
 (2) 長野市歴史的風致維持向上計画における景観計画との連携について



評価軸②-2

重点区域における良好な景観を形成する施策

| 項目 | 評価対象年度 | 令和2年度 |
|----------------|--------|--|
| 長野市屋外広告物条例との連携 | | 現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 |

計画に記載している内容

〈重点区域〉
 ○善光寺周辺
 長野市屋外広告物条例では、歴史的な景観を有する地区等で、よりきめ細やかな景観の規制誘導を図るために、特別地区制度を設けている。今後、重点区域内においては、景観計画と連携しながら、よりきめの細かい地区制度の導入についても検討し、歴史的風致の維持向上に取り組んでいく。
 ○戸隠
 広範囲にわたって妙高戸隠連山国立公園戸隠地域戸隠管理計画区に指定され、屋外広告物の掲出についても一定の規制が設けられているが、宝光社地区の一部には、国立公園による規制と屋外広告物条例による規制のどちらにもかかっていない部分があり、善光寺門前の規制とともに、よりきめの細かい規制地区の導入について検討していく。
 ○松代
 重点区域内については、善光寺周辺と同様に、景観計画と連携しながら、特別規制地区制度の導入についても検討し、歴史的風致の維持向上に取り組んでいく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

屋外広告物担当部局との連携協議を実施し、歴まち計画と良好な景観形成に関する施策との連携における課題と方針、各地区での取り組み等を共有した。
 また、平成18年改正施行の「長野市屋外広告物条例」に基づき、屋外広告物を設置する際に、設置地区の規制区分及び屋外広告物の表示面積に応じて申請義務を課し、誘導している。
 屋外広告物条例に基づく許可件数 令和2年度実績:739件(1月末現在 市全域)

| 進捗状況 ※計画年次との対応 | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) |
|--|--------------------------|
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない | |

状況を示す写真や資料等

景観計画担当部局と連携協議を実施

第1回 令和2年11月12日(木)

- 協議内容 (1) 第2期長野市歴史的風致維持向上計画の策定に対する考え方
 (2) 長野市歴史的風致維持向上計画における屋外広告物条例との連携について



評価軸②-3

重点区域における良好な景観を形成する施策

| 項目 | 評価対象年度 | 令和2年度 |
|-----------------|--------|--|
| 長野市伝統環境保存条例との連携 | | 現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 |

計画に記載している内容
 松代城下町の歴史的かつ文化的な遺産としての伝統環境を保存し、次世代の市民に継承することを目的として、昭和58年(1983)3月に「長野市伝統環境保存条例」が制定されている。条例では、松代町四町(表柴町、代官町、馬場町、竹山町)を伝統環境保存区域として指定し、区域内の保存に関する保存計画を策定している。保存区域内で建築物(主屋、土蔵、門、塀など)、庭園その他の工作物の新築、増改築などを行う場合に、市へ届け出ることが必要であり、これにより、城下町の良好な景観形成を図っている。伝統環境保存区域の全域が本計画の重点区域内に含まれることから、引き続き条例に基づいて伝統環境の保存に努めていくとともに、都市計画や景観計画と連携しながら、周囲に広がる歴史的景観との調和についても検討し、さらなる歴史的風致の維持向上を図っていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

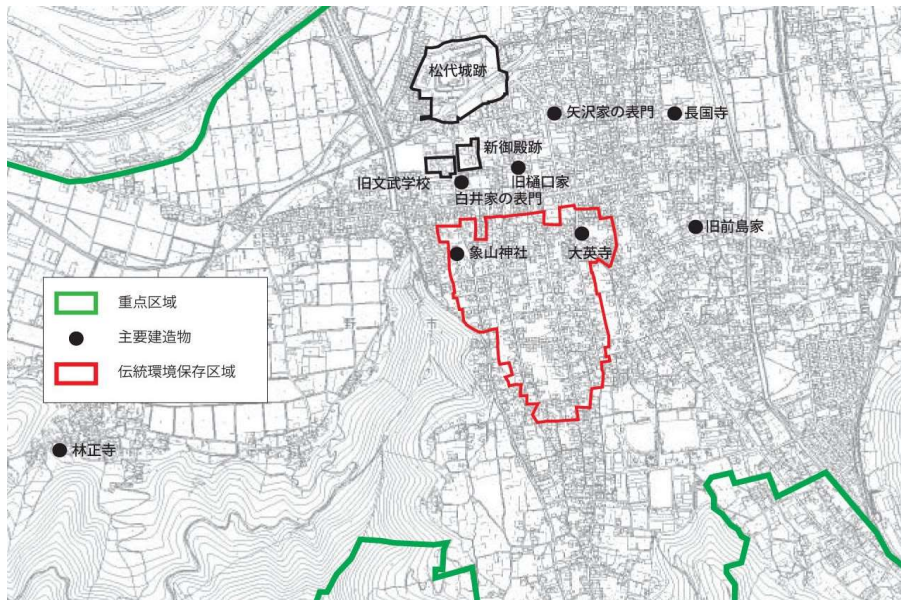
届出への審査指導や伝統環境の保全に寄与する建築物・工作物等保全へ補助することで、城下町の良好な景観形成と保全が図られた。補助制度を活用して歴史的まちなみに寄与する建物等を保全維持している所有者は、地元団体の松代地区中心市街地活性化協議会の「街なみ景観賞」として表彰されるなど、まちなみ保存に対する地域住民の意識向上にもつながっている。
 ○令和2年度実績(令和2年12月23日現在)
 届出件数:13件(新築11件、解体2件)
 補助件数:0件(評価軸③-17)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

伝統環境保存区域:約29ha



評価軸②-4
重点区域における良好な景観を形成する施策

| 項目 | 評価対象年度 | 令和2年度 |
|------------------------|--------|--|
| 長野市伝統的建造物群保存地区保存条例との連携 | | 現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 |

計画に記載している内容
長野市内の伝統的建造物群及びこれと一体をなしてその価値を形成している環境を保存するため、平成28年4月に「長野市伝統的建造物群保存地区保存条例」を制定した。
さらに、平成28年8月には条例に基づき、戸隠中社・宝光社地区の一部を長野市戸隠伝統的建造物群保存地区に決定し、同保存地区の保存に関する計画(保存計画)を策定した。保存計画では、伝統的建造物である宿坊や農家の主屋等の建築物や石垣等の工作物と共に、生垣や庭園、水路等を環境物件として特定し、保存のために行う措置を具体的に示している。
保存地区内で建造物の新築や増改築など、現状変更を行う場合には、事前に教育委員会の許可が必要であり、これにより、戸隠神社門前の良好な景観形成、歴史的風致の維持向上を図っていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

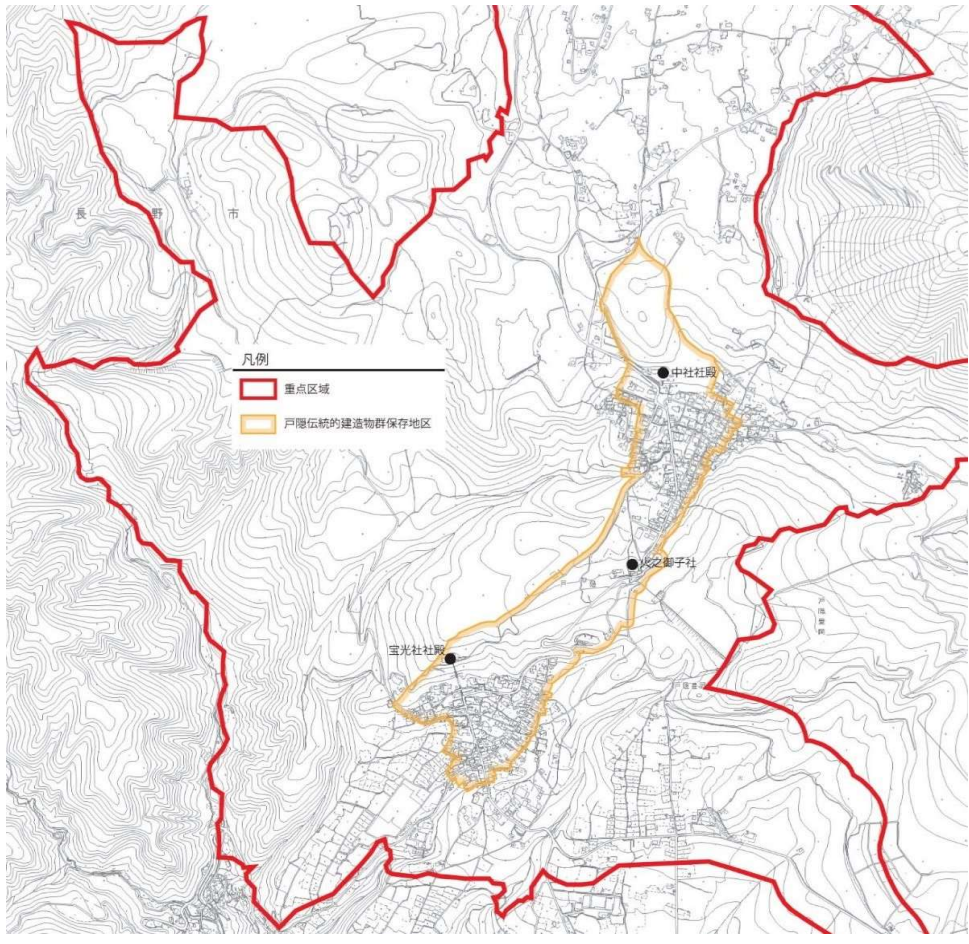
現状変更に対して事前に内容を確認し、必要に応じて協議を行うことで、戸隠神社門前の良好な景観形成が図られた。また、保存地区内における建造物を保存するため、所有者が行う修理費に対し補助することで、保存地区内の良好な景観形成が図られた。
○令和2年度実績(令和2年12月1日現在)
許可申請件数:16件
補助件数:2件(建築物2件)(評価軸③-7)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

戸隠伝統的建造物群保存地区:約73.3ha



評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

| | | 評価対象年度 | 令和2年度 |
|-----------|--|---|-------|
| 項目 | | 現在の状況 | |
| 無形文化財支援事業 | | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |

事業期間 平成25年度～令和4年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 無形文化財あるいは無形民俗文化財の指定等を受けている伝統的な祭礼を保存・継承するためには、無形文化財の保持者または保持団体が、地域の若者・子ども達などに伝統的な祭礼に触れる場を積極的に提供する必要がありますため、文化財の記録作成、伝承者養成、その他保存・公開に必要な経費について、支援事業を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

文化財伝承者の養成、若者・子ども達などに伝統的な祭礼に触れる場の積極的な提供、公開活動に対する支援等を行うため、無形文化財及び無形民俗文化財の保持者または保持団体に対し、活動経費の一部を助成した。
 ○令和2年度実績:無形文化財補助金 2件

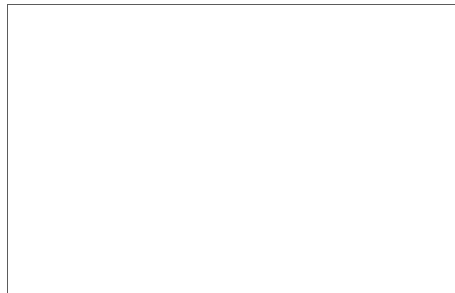
| 進捗状況 ※計画年次との対応 | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) |
|--|--------------------------|
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない | |

状況を示す写真や資料等

令和2年度
支援先の概要

(善光寺・戸隠地区)

- ① 宣澄(せんちょう)踊り保存会 戸隠神社宣澄社および宣澄生誕地での宣澄踊りを奉納。



踊り奉納の様子

(松代・若穂川田地区)

- ① 箏曲(そうきょく)八橋流保存会 地元小学生を対象とする育成活動が行われ、保存継承を推進。



演奏の様子

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

| | | |
|---------------------|---|-------|
| | 評価対象年度 | 令和2年度 |
| 項目 | 現在の状況 | |
| 歴史的資源活用コーディネーター派遣事業 | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |

事業期間 平成26年度～令和4年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 住民主体のまちづくりを支援するため、歴史的町並みを活かした良好な町並み形成を目指す住民組織等に対して、外部の専門家や有識者を派遣する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

若穂川田地区において、令和元年度に実施した川田宿の歴史を学ぶための講演会をもとに川田宿の歴史を冊子化することに取り組んでいる地元のまちづくり団体に専門家を派遣し、冊子づくりのための知識や技術を学んだ。
 鬼無里地区において、歴史的な建造物の代表的なもの1棟について、今後の地元住民によるまちづくり活動の参考とするため、専門家を派遣し、調査を行った。
 ○令和2年度実績:コーディネーター派遣人数 2人

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



川田宿の歴史文化に関する冊子づくりの読み合わせの様子(R2.10.13)



鬼無里地区の歴史的な建造物調査の様子(R3.2.22)

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

| 項目 | 評価対象年度 | 令和2年度 |
|----------|--------|--|
| 伝統芸能継承事業 | | 現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 |

事業期間 平成28年度～令和4年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 祖先の優れた文化活動の所産であり、長い年月の間に大切に守られてきた郷土の伝統芸能を保存・継承するため、その技術を後世に継承する団体に対し、用具の修理・更新、子供用具の購入、外部講師謝礼、体験教室の開催費用、指導用DVDの作成等に必要な経費の一部について、助成を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ・伝統芸能継承事業補助金(補助率2/3、上限100千円) 内示36団体、2,834千円
- ・ながの獅子舞フェスティバル(5月3日→延期9月19日) 参加79団体→延期24団体、400名、来場者2万人
- ・伝統芸能こどもフェスティバル(10月24日、25日)参加18団体、372名、来場者1,300名

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



ながの獅子舞フェスティバル(R2.9.19)



伝統芸能こどもフェスティバル(R2.10.24・25)

評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

| | | 評価対象年度 | 令和2年度 |
|----------|--|---|-------|
| 項目 | | 現在の状況 | |
| 空き家バンク事業 | | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |

事業期間 平成27年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 空き家となっている歴史的建造物などの利活用可能な建物のうち、売却・賃貸を希望している所有者の物件を登録し、空き家情報としてホームページ等を通して広く情報提供を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

重点区域内における空き家バンク登録件数(令和元12月1日～令和2年11月30日):6件
 (内訳)善光寺・戸隠:3件、松代・若穂川田:1件、鬼無里:2件

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

| | | |
|----------------|---|-------|
| | 評価対象年度 | 令和2年度 |
| 項目 | 現在の状況 | |
| 善光寺周辺地域道路美装化事業 | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |

事業期間 平成15年度～令和2年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 善光寺門前の良好な景観形成を推進するため、仲見世及び宿坊群で構成されるエリアの次の路線について、周囲の景観に調和した舗装整備を行う。
 釈迦堂通り、法然通り、仁王門通り、阿闍梨池通り、御幸坂通り、長野北96号線、長野北236号線

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

善光寺周辺道路の美装化工事を実施し、良好な景観形成が図られた。

○令和2年度実績

道路美装化(石畳舗装): 御幸坂通り(歩道) L=126m(南北部完了)、L=118m(東西部施工中)

道路美装化(石畳風舗装): 御幸坂通り(車道) L=242m(施工中)

道路美装化(景観配慮型舗装): 長野北236号線(北側歩道) L=118m

※道路美装化総延長(計画期間累計) 実施済みL=842m/計画延長L=1,084m(進捗率77.7%)

進捗状況 ※計画年次との対応

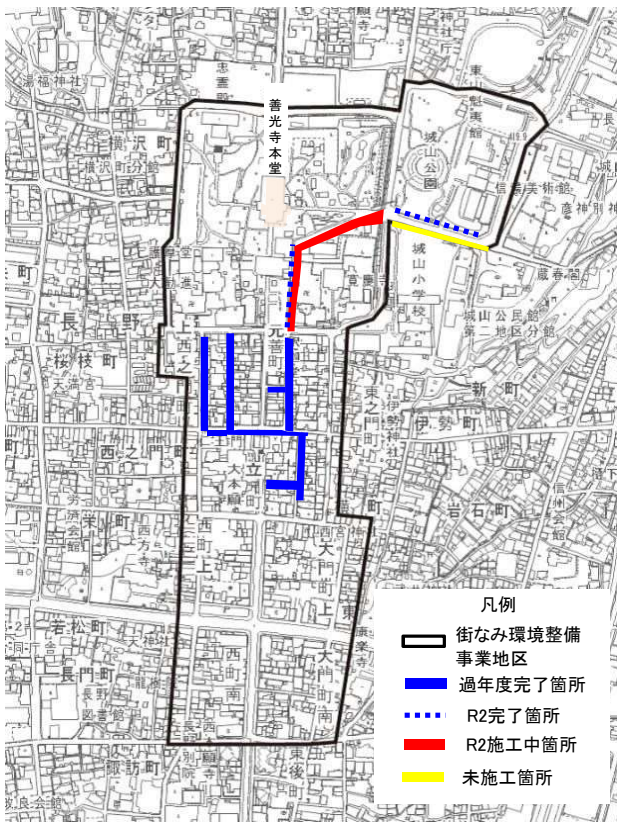
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
 計画どおり進捗していない

周辺工事との交通規制方法の調整により工事の進捗に遅れが生じたため、事業期間を令和3年度に延長する。また、未施工箇所については、周辺施設整備の動向を踏まえ、施工の実施を含め再検討する。

状況を示す写真や資料等

御幸坂通り道路美装化工事(歩道部)



道路美装化位置図



着工前



竣工

評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

| | | 評価対象年度 | 令和2年度 |
|-----------------|--|---|-------|
| 項目 | | 現在の状況 | |
| 善光寺周辺地域電線類地中化事業 | | <input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |

事業期間 平成17年度～令和2年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 善光寺門前の良好な景観形成を推進するため、仲見世及び宿坊群で構成されるエリアの次の路線について、電線類を地中化し、道路からの眺望景観の向上を図る。
 釈迦堂通り、法然通り、仁王門通り、阿闍梨池通り、御幸坂通り、長野北122号線

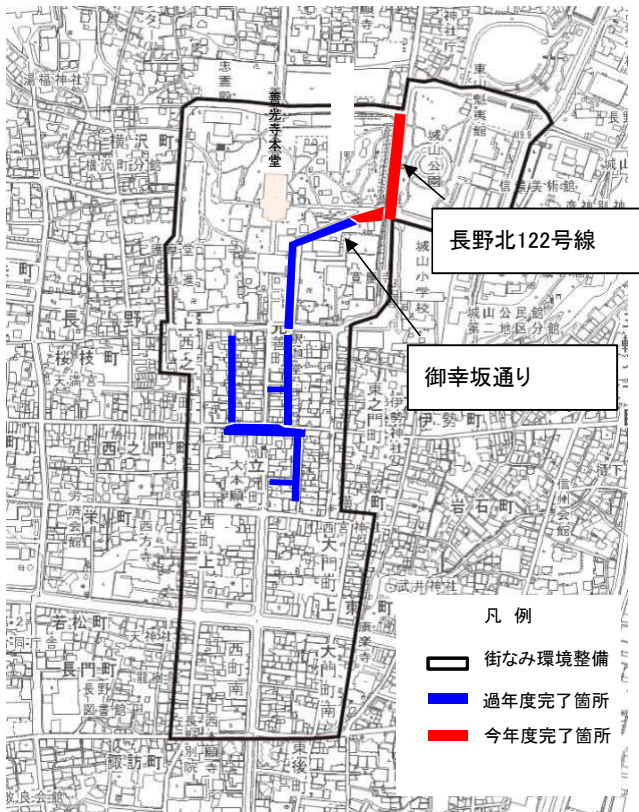
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

善光寺周辺地域における道路の電線類地中化工事を実施し、眺望景観の向上が図られた。
 ○令和2年実績
 御幸坂通り L=49m
 長野北122号線 L=139m
 ※電線類地中化総延長(計画期間累計) 実施済みL=939m/計画延長L=939m(進捗率100.0%) ※事業完了

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



電線類地中化位置図

長野北98号線外電線類地中化
 工事施工状況



管路布設状況

評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

| | | 評価対象年度 | 令和2年度 |
|-----------------|--|---|-------|
| 項目 | | 現在の状況 | |
| 戸隠地域建造物修理修景助成事業 | | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |

事業期間 平成29年度～令和4年度

支援事業名 国宝重要文化財等保存整備費補助金、社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 長野市戸隠伝統的建造物群保存地区を主とする中社・宝光社地区において、宿坊や民家等の所有者が、保存計画に定められた基準に基づき建造物等の修理及び修景を行う場合、または、歴史的建造物の特性を活かした街づくり協定を締結した上で建造物の修景を行う場合に、経費の一部を助成する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

長野市戸隠伝統的建造物群保存地区において歴史的町並みを構成する建造物の修理・修景事業に対して費用の助成を行った。
 事業に際しては、文化庁及び長野市伝統的建造物群保存地区保存審議会の指導・助言を受け、実施した。
 ○令和2年度実績:修理2件

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



修理前



修理後

横倉家(旧十輪院)主屋



修理前



修理後

神原家(旧観法院)主屋

評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

| | | |
|--------------------------|---|-------|
| | 評価対象年度 | 令和2年度 |
| 項目 | 現在の状況 | |
| 戸隠地域道路美装化・電柱電線類移設・歩道整備事業 | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |

| | |
|-------|------------------------|
| 事業期間 | 平成30年度～令和4年度 |
| 支援事業名 | 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業) |

計画に記載している内容 戸隠中社・宝光社地区門前の歴史的まちなみが広がる一部の路線について、道路美装化、電柱電線類移設、歩道整備等を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

戸隠中社及び宝光社門前に広がる宿坊や民家の歴史的建造物の眺望景観を向上させるとともに、歴史的建造物と道路が一体となった景観形成を図るため、周囲の歴史的建造物に調和した道路の美装化を実施した。

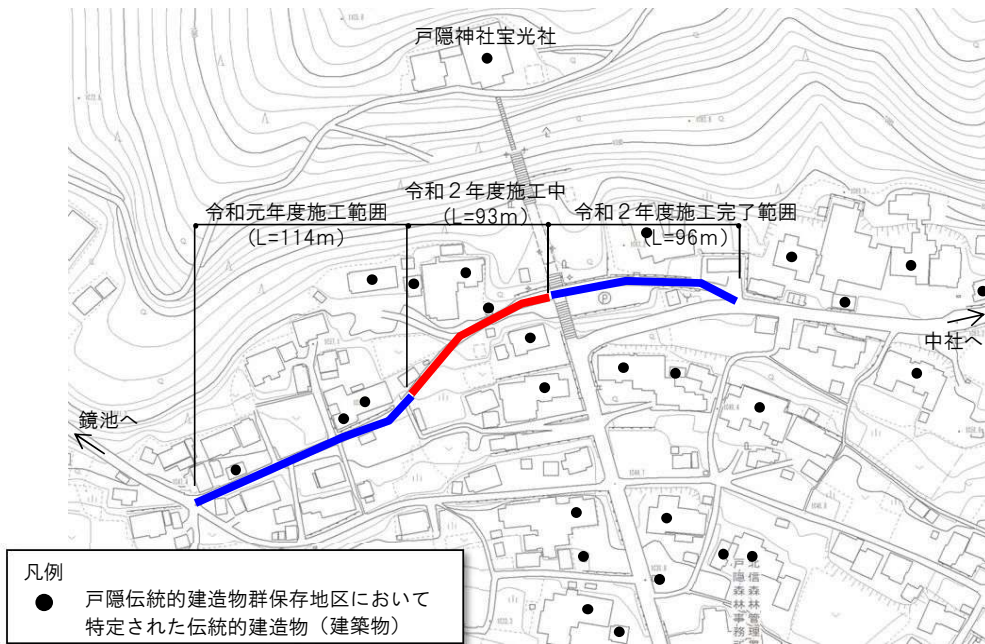
○令和2年度実績

市道戸隠北58号線(宝光社横大門通り)美装化 施工完了L=96m 施工中区間L=93m

※道路美装化総延長(計画期間累計) 実施済みL=210m/計画延長L=980m(進捗率21.4%)

| | |
|--|--------------------------|
| 進捗状況 ※計画年次との対応 | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) |
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない | |

状況を示す写真や資料等



宝光社横大門通りの美装化(宝光社地区)



着工前



竣工

評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

| 項目 | 評価対象年度 | 令和2年度 |
|------------------|--------|--|
| 弥栄神社の御祭礼屋台巡行支援事業 | | 現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 |

事業期間 平成25年度～令和4年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 弥栄神社の御祭礼で曳き回される屋台の巡行を支援するため、各町で保管している屋台や祭礼用具の組立及び解体、補修等に対して補助金を交付する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

祇園祭における屋台巡行の毎年実施が復活し、今年度で9年目を迎えたが、昨今の新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により祭りが中止となった。そのため、屋台の組み立てや解体に係る費用の助成はできなかったが、屋台の修繕費用についての助成を行った。

○令和2年度実績

祭礼屋台事業補助金:1件(1台の屋台補修費用の一部を助成)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



令和2年度 補修した新田町屋台

評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

| | | |
|----------|---|-------|
| | 評価対象年度 | 令和2年度 |
| 項目 | 現在の状況 | |
| 戸隠茅場整備事業 | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |

事業期間 平成26年度～令和4年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 戸隠中社・宝光社地区の歴史的町並みを構成する茅葺き屋根の建物を、今後も適切に維持保全していくため、中社地区内にある戸隠スキー場中社ゲレンデを茅場として整備する。なお、このゲレンデの一面には、すでに茅材に適した大茅が自生していることから、毎年、定期的に茅刈りを行うことにより、良質な茅場として整備できることが十分に見込める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

戸隠スキー場中社ゲレンデにおいて、11/7・8に市と戸隠中社・宝光社地区まちづくり協議会など関係団体の協力による茅刈り体験を行うとともに、茅葺屋根など歴史的建造物が残る地区内のまち歩きを行い、歴史まちづくりに対する理解を深めた。

また、11/11～20の10日間、戸隠中社・宝光社地区まちづくり協議会による茅刈りが行われ、伝統技術の継承が図られるとともに地区内の茅葺き屋根に使用する茅材を確保した。

○令和2年度実績:茅刈りイベント 参加者40人
 地元住民茅刈り 延べ参加者●人 両方おとして約600束を刈り取り

| | |
|--|--------------------------|
| 進捗状況 ※計画年次との対応 | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) |
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない | |

状況を示す写真や資料等

戸隠スキー場中社ゲレンデ茅刈り
 11/7・8 茅刈り体験イベント「茅刈り体験in戸隠2020」:延べ参加者40人



茅刈り・による作りの様子



まち歩きの様子



戸隠スキー場中社ゲレンデ茅刈り
 11/11～20 茅刈り:延べ参加者●人



地元住民による茅刈りの様子



評価軸③-11
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

| | | |
|-----------|---|-------|
| | 評価対象年度 | 令和2年度 |
| 項目 | 現在の状況 | |
| 城山公園再整備事業 | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |

事業期間 平成29年度～令和2年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(都市構造再編集中支援事業)

計画に記載している内容 善光寺に隣接する立地条件を活かし、一体的な歴史的景観を形成するとともに、バリアフリーにも配慮して善光寺周辺地域の回遊性の向上に寄与するよう、魅力ある公園として再整備する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

善光寺周辺地域の回遊性を向上させるため、善光寺周辺の歴史的景観に配慮し、県立信濃美術館と城山公園の一体的な整備を進めた。

○令和2年度実績

- ・交差点改良(完了)
- ・広場整備、修景施設整備、電気整備(実施中)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

関係する周辺事業との調整が必要なため、事業期間を令和3年度に延長する。

状況を示す写真や資料等



城山公園の整備状況 (R2.11)



歩道橋撤去前 (R2.3)



歩道橋撤去後 (R2.12)

交差点改良

評価軸③-12

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

| | | |
|-------------|---|-------|
| | 評価対象年度 | 令和2年度 |
| 項目 | 現在の状況 | |
| 善光寺保存活用推進事業 | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |

事業期間 令和2年度～令和4年度

支援事業名 文化資源活用事業費補助金(観光拠点整備事業)、国宝重要文化財等防災施設整備費補助金

計画に記載している内容 善光寺境内域の保存活用計画の策定を進めるとともに、早急に対策が必要な善光寺本堂等の防災施設整備を進めるため、必要な経費の一部について助成する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

国宝の善光寺本堂、重要文化財の善光寺経蔵、三門を中核とする善光寺境内域において、文化財保存活用計画の検討を進めるとともに、防災計画を作成し、防災計画に基づく防災施設整備事業の着手に向けた準備を進めた。なお、計画作成に際しては、文化庁及び長野県教育委員会、防災専門の大学教授より指導・助言を受けている。

- 令和2年度実績
- ・保存活用計画の検討(令和3年度作成予定)
- ・防災計画の作成、防災施設整備の準備(令和3年度より工事着手予定)

| | |
|--|--------------------------|
| 進捗状況 ※計画年次との対応 | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) |
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない | |

状況を示す写真や資料等



善光寺本堂屋根裏状況の確認(保存活用計画・防災計画)



善光寺本堂ドレンチャー設備の放水試験



善光寺経蔵放水銃設備の放水試験

評価軸③-13

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

| | | | |
|------------------|--|---|-------|
| | | 評価対象年度 | 令和2年度 |
| 項目 | | 現在の状況 | |
| 戸隠神社奥社社叢保存活用推進事業 | | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |

事業期間 平成30年度～令和3年度

支援事業名 市単費事業

計画に記載している内容 県指定天然記念物戸隠神社奥社社叢の保存活用計画の策定に要する経費の一部について、助成を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

保存活用計画の策定に向け、毎木調査、動植物調査、地形測量等の調査を実施するとともに、有識者らによる保存活用計画策定委員会において計画の内容について検討を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

新型コロナウイルス感染症の影響による会議の延期及び追加調査の必要性が生じたことにより、事業期間を令和4年度に延長する。

状況を示す写真や資料等



毎木調査の様子



地形測量の様子

評価軸③-17
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

| | | |
|----------|---|-------|
| | 評価対象年度 | 令和2年度 |
| 項目 | 現在の状況 | |
| 伝統環境保存事業 | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |

事業期間 昭和59年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 江戸時代の良好な武家屋敷地としての地割りや建物が残るとともに、松代特有の水路である庭園や泉水がとりわけ多く残っている、表柴町、代官町、馬場町、竹山町の四町の伝統環境を保存し、後世に受け継ぐため、伝統環境保存区域内で行われる建造物や庭園等の修理・修景に対して指導・助成等を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

長野市伝統環境保存区域内行為届書提出数・13件
伝統環境保存審議会において、令和元年度補助対象物件となった修理実施の現地確認・指導を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



審議委員による現地視察(福田家表門)



審議委員による現地視察(長谷川家主屋)



審議委員による審議

評価軸③-16
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

| | | |
|--------------|---|-------|
| | 評価対象年度 | 令和2年度 |
| 項目 | 現在の状況 | |
| 旧横田家住宅保存整備事業 | <input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |

事業期間 平成23年度～令和2年度

支援事業名 国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金

計画に記載している内容 江戸時代の中級武家屋敷である旧横田家住宅(主屋、表門、隠居屋、土蔵2棟)は、前回の解体修理工事から20年以上経過し、茅葺屋根や土壁、木部等に劣化が生じていることから、保存修理を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

松代城下町における歴史的景観の保全を図るため、重要文化財(建造物)旧横田家の耐震補強を含む保存修理工事を実施した。また利用者の利便性を高めるため、便益施設整備改修工事を実施した。
 ○令和2年度実績
 ・旧横田家住宅保存修理工事の実施:主屋、表門、隠居屋、土蔵2棟
 ・板塀等修理工事の実施
 ・トイレ棟改修工事

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



旧横田家隠居屋
(旧茅材解体状況)



文化庁調査官現地指導(R2.8.28)



表門
(修理後)



隠居屋
(修理後)

評価軸③-17
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

| | | 評価対象年度 | 令和2年度 |
|--|---|---|-------|
| 項目 | | 現在の状況 | |
| 旧文武学校保存整備事業 | | <input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |
| 事業期間 | 平成23年度～令和2年度 | | |
| 支援事業名 | 国宝重要文化財等保存整備費補助金、歴史的風致活用国際観光支援事業費補助金、文化資源活用事業費補助金(多言語解説整備事業) | | |
| 計画に記載している内容 | 松代藩の藩校として、安政2年(1855)に開校した史跡旧文武学校は、松代城下町の歴史を伝える重要拠点であるとともに、善光寺御開帳では、回向柱が安置される場所でもある。経年による老朽化が著しいため、現況調査を入念に行った上で保存修理を適切に進めるとともに、生涯学習や観光の拠点として積極的な利活用を促進するための環境整備を行う。 | | |
| 定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で | | | |
| 建造物等の保存修理工事が完了し、付帯工事として周辺環境整備を実施した。また昨年度に引き続き藩校体験プログラムに資する展示整備事業を実施した。令和2年10月1日にリニューアルオープンし、一般公開した。 ○令和2年度実績 整備報告書作成業務、剣術所柵設置工事、史跡境界復元測量業務、バーチャル展示整備業務 | | | |
| 進捗状況 ※計画年次との対応 | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) | | |
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない | | | |

状況を示す写真や資料等



旧文武学校 鳥瞰図



剣術所柵設置状況



ガイダンス映像展示状況



砲術体験展示状況

評価軸③-18
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

| | | |
|----------------|---|-------|
| | 評価対象年度 | 令和2年度 |
| 項目 | 現在の状況 | |
| 松代町文化財保存活用推進事業 | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |

事業期間 平成25年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 多くの文化財施設が集積する松代地区において、文化財施設を活用したまちづくりを促進するため、文化財ボランティアの活動や市民ワークショップの開催等を推進する。また、松代地区における文化財施設の中核施設である真田宝物館の老朽化にともなう施設改修に向けて、松代地区全体の文化財を活用するための調査研究を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

文化財と人をつなぐ活動を行ってきたボランティア活動は、新型コロナウイルス感染の影響により、対面での活動を大幅に制限されることになった。そこで令和2年度は、自らのスキルアップを目指し、文化財等の調査や古文書解読などのグループ学習、襖の下張りの整理・調査活動を行った。宝物館の建て替えについては、松代城跡第2期整備の進捗と合わせて検討している。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



文化財の調査活動



襖の下張りの調査・整理



古文書の自主学习



令和2年度中に撤去予定となる真田公園内の建物
(真田宝物館と隣接する)

評価軸③-19

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

| | | |
|-------------|---|-------|
| | 評価対象年度 | 令和2年度 |
| 項目 | 現在の状況 | |
| 旧松代駅舎保存活用事業 | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |

| | |
|-------|--------------|
| 事業期間 | 平成25年度～令和4年度 |
| 支援事業名 | 市単独事業 |

計画に記載している内容 大正11年(1922)建築の旧長野電鉄屋代線松代駅の駅舎を、来訪者に対する案内拠点として活用するため、内部改修と外観修景を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ・松代城・真田宝物館周辺の再編構想について、現状と課題の整理及び整備方針案等の庁内打ち合わせを行った。
- ・松代城跡第二期整備計画検討委員会において、駅舎の活用方法等について意見交換を行った。
- ・地元NPO法人が観光情報コーナーを設置し、来訪者や市民への情報発信の場として活用した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



松代城跡第二期整備計画検討委員会(WG検討会)

評価軸③-20

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

| | | |
|---------------|---|-------|
| | 評価対象年度 | 令和2年度 |
| 項目 | 現在の状況 | |
| 松代城跡東側駐車場整備事業 | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |

| | |
|-------|--------------|
| 事業期間 | 平成25年度～令和4年度 |
| 支援事業名 | 市単独事業 |

計画に記載している内容 松代中心市街地への自動車の流入を防ぐため、旧長野電鉄屋代線の敷地のうち、史跡松代城跡東側の一部にアクセス駐車場を整備する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

暫定的に観光用駐車場として活用し、中心市街地への自動車流入の制御を図った。また、地元有志がイベント会場として活用した。

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



観光用駐車場としての利用状況



令和2年度のイベントにおける利用状況
(R2.10.30～11.3 地元有志の主催によるイベント)

評価軸③-21

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

| 項目 | 評価対象年度 | 令和2年度 |
|-----------------------|--------|--|
| 北国街道松代道周辺文化財等周遊道路整備事業 | | 現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 |

事業期間 平成25年度～令和4年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 北国街道松代道周辺の文化財や歴史的建造物等をゆったりと周遊できる道を整備するため、平成24年(2012)3月に廃線となった旧長野電鉄屋代線の線路敷を活用し、沿線に点在する歴史的遺産を巡る自転車道ないし遊歩道としての整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和2年度実績:自転車道・遊歩道建設工事 L=1,045m竣工
(計画延長:9,800m 竣工済み:2,469m 進捗率25.2%)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



令和2年度 自転車道・遊歩道建設工事実施箇所



自転車道・遊歩道建設工事 竣工状況

評価軸①-22
組織体制

| 項目 | 評価対象年度 | 令和2年度 |
|---------------|--------|--|
| 史跡大室古墳群保存整備事業 | | 現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 |

事業期間 平成26年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 平成10年(1998)から平成25年(2013)にかけて実施しているエントランスゾーン・施設整備ゾーンに引き続き、積石塚古墳・合掌形石室が密集して分布する遺構復元整備ゾーン(面積:約42,000㎡、古墳数60基)の古墳を修理して保存・継承するとともに、古墳周辺の自然環境を保全し、また、園路や説明板等の便益設備を整えて見学者の利便性を高めるなど、学校教育や生涯学習の場として利活用できるように整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

古墳1基(186号墳)の保存修理工事(墳丘上の樹木伐採)、古墳1基(185号墳)の保存修理実施設計を進め、大室古墳群の文化財的価値の向上を図った。また、草刈や園路清掃・墳丘清掃などを行い、遠足や社会見学などの学校教育や生涯学習の場としての利用に供した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



小学校の社会見学



生涯学習の野外活動



185号墳(実施設計対象古墳)の設計用測量作業



186号墳(保存修理対象古墳)の墳丘清掃(準備作業)

評価軸③-23

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

| | | 評価対象年度 | 令和2年度 |
|--------------|--|---|-------|
| 項目 | | 現在の状況 | |
| 旧信濃川田駅保存活用事業 | | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |

事業期間 平成25年度～令和4年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容
 川田宿には、地域の歴史や文化を伝えるための施設が不足しているとともに、大通りから離れたところに歴史的まちなみが形成されているため、歴史的まちなみへの案内が不足している。本事業は、川田における歴史的建造物の一つである大正11年(1922)建築の旧長野電鉄屋代線信濃川田駅の駅舎を、川田宿の歴史を伝える資料館及び来訪者に対する案内拠点として活用するため、内部改修と外観修景を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・駅舎の利活用について、地元と協議を2回行った。
 ・地元住民が駅舎内にミニギャラリーコーナーを設置し、来訪者等への情報発信を行った。また、駅舎敷地の一部を地域のためのイベントスペースとして整備した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



地元住民による駅舎の活用(「ミニギャラリーコーナー」の設置)



地元住民によるイベントスペースの整備



地元住民による花壇の整備

評価軸③-24

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

| 項目 | 評価対象年度 | 令和2年度 |
|----------------|--------|--|
| 松代歴史文化の発信・誘客事業 | | 現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 |

事業期間 平成22年度～令和4年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 松代の歴史文化を発信し誘客に繋げようとして「NPO 法人 夢空間松代のまちと心を育てる会」が実施している、まち歩き推進事業、交流ネットワーク事業、広報・出版・情報発信事業、まち歩きセンター運営事業に対して助成を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

松代地区全体を歴史的遺産と見立て、地域資源の掘り起こし、磨き上げ、情報発信を行っている「NPO法人 夢空間松代のまちと心を育てる会」の活動補助を行い、散策ツールの製作やまち歩きガイドの養成、まち歩きセンター運営、まちづくりシンポジウムの開催等によりまち歩き観光の推進とPRIに寄与した。

○令和2年度実績

まち歩きツアー 6回開催 参加者合計 123名 視察受入 7回開催 参加者合計 79名

松代学講座 4回開催 参加者合計 201名 イベント(フォーラム、写真展、特別講座)の開催3回 参加者合計 225名

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



まち歩きセンター外観



まち歩きガイドの実施



夢空間発行のパンフレット・書籍

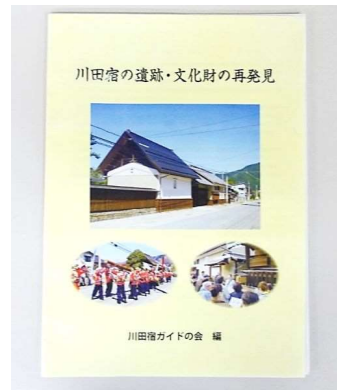
評価軸③-25
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

| 項目 | | 評価対象年度 | 令和2年度 |
|---|---|---|-------|
| | | 現在の状況 | |
| 川田宿PR活用事業 | | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |
| 事業期間 | 平成26年度～令和4年度 | | |
| 支援事業名 | 市単独事業 | | |
| 計画に記載している内容 | 川田宿の歴史的町並みや伝統文化を川田宿を訪れる観光客に対して広くPRするため、川田宿ガイドの会が主体となり、案内ガイドの実施や町歩きガイドマップの作成を行う。 | | |
| 定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で | | | |
| ・毎月第2火曜日に開催に定例会議を開催し、会員相互の情報交換及びまちづくりに資する活動を行った。 ・「歴史的資源活用コーディネーター派遣事業」に基づき令和2年2月に実施した講演会「川田宿の歴史を学ぼう」の内容をもとに、冊子「川田宿の遺跡・文化財の再発見」を作成した。若穂公民館館報11月号及び市ホームページの歴史まちづくりニュースに取り上げられた。 ・個人グループでの来訪への対応を行った。 | | | |
| 進捗状況 ※計画年次との対応 | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) | | |
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない | | | |

状況を示す写真や資料等



定例会議の様子
(冊子「川田宿の遺跡・文化財の再発見」の作成)



冊子「川田宿の遺跡・文化財の再発見」



冊子「川田宿の遺跡・文化財の再発見」
の作成のための現地確認の様子

評価軸③-26
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

| | | |
|--------------|---|-------|
| | 評価対象年度 | 令和2年度 |
| 項目 | 現在の状況 | |
| 史跡松代城跡保存整備事業 | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |

| | |
|-------|---------------------------|
| 事業期間 | 平成27年度～令和4年度 |
| 支援事業名 | 市単独事業、国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金 |

計画に記載している内容 史跡松代城跡について、松代地区の中核拠点として利活用を図るため、史跡の追加指定・公有地化を進め、保存整備を実施するもの

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

松代地区の歴史的風致を構成する史跡松代城跡について、地元・関係機関との協議や専門家会議を行い、事業を進めた。また、発掘調査・史料調査を進め、城郭の価値や魅力に関する情報収集を行った。
 ○令和2年度実績
 ・本丸木橋の基本設計、外周園路整備工事の実施
 ・史料調査の実施、整備専門家会議・松代地区との調整会議等を開催

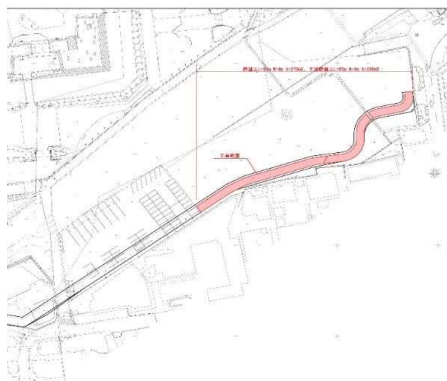
進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



松代城跡整備専門家会議



外周園路整備工事 位置図



外周園路整備工事状況

評価軸③-27
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

| 項目 | 評価対象年度 | 令和2年度 |
|-----------------|--------|--|
| 大室古墳群アクセス道路整備事業 | | 現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 |

事業期間 平成28年度～令和4年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 大室古墳群の保存活動は、史跡整備されたエントランスゾーンやガイダンス施設「大室古墳館」を拠点に、周辺の歴史文化資産を含めた保存を図っていく局面を迎えている。こうした新たな保存活動及び利活用の促進を図る上で、国道403号線から国史跡大室古墳群までのアクセス道路整備により誰もが訪れやすいようにするとともに、周辺の歴史文化資産を活かす道路として整備を進める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

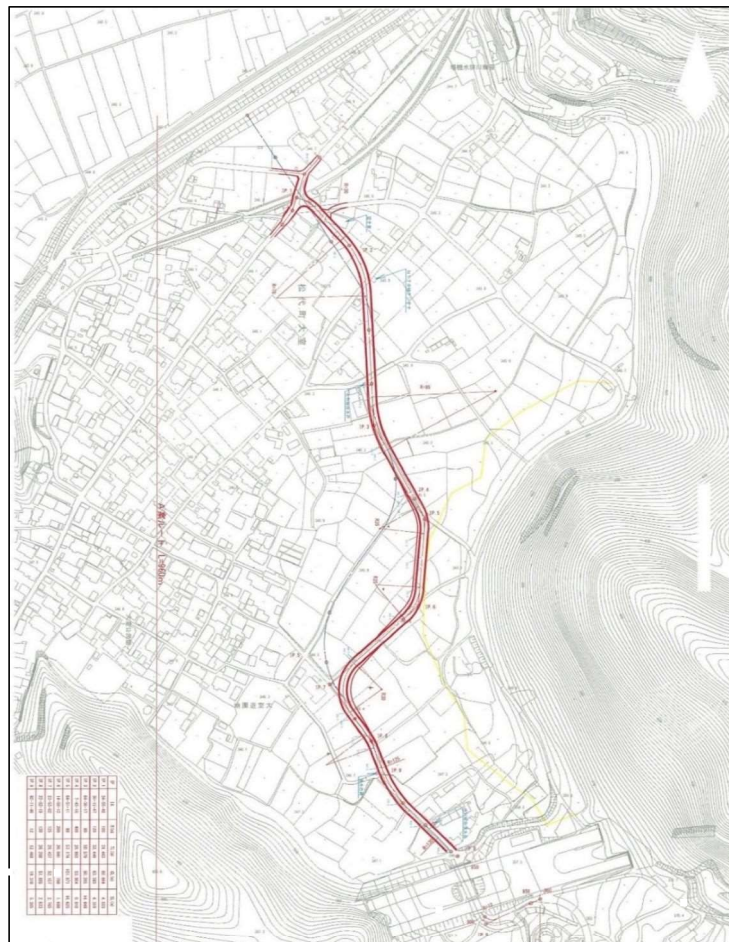
概略設計による基本ルート案をもとに、大室古墳群アクセス道路整備対策委員会(地元)と整備に向けた協議を行うとともに、地権者等との意見交換により変更ルート案を策定した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



大室古墳群アクセス道路変更ルート

評価軸③-28
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

| | | |
|--------------|---|-------|
| | 評価対象年度 | 令和2年度 |
| 項目 | 現在の状況 | |
| 真田信之霊屋保存修理事業 | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |

事業期間 令和元年度～令和4年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 老朽化が著しい重要文化財真田信之霊屋宝殿及び表門について、保存修理工事に要する経費の一部について補助を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

重要文化財真田信之霊屋宝殿及び表門の保存修理工事を開始したため、工事内容について指導・助言を行うとともに、要する経費の一部について助成を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



真田信之霊屋(修理前宝殿外観)



修理前屋根破損状況(宝殿/北西隅)



屋根修理状況(宝殿/北西隅)



木部破損状況(宝殿)

評価軸③-29

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

| | | 評価対象年度 | 令和2年度 |
|---|---|---|-------|
| 項目 | | 現在の状況 | |
| 松代町文化財美観向上推進事業 | | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |
| 事業期間 | 令和2年度～令和3年度 | | |
| 支援事業名 | 文化資源活用事業費補助金(観光拠点整備事業) | | |
| 計画に記載している内容 | 松代町に多く残る国の登録有形文化財をはじめとした歴史的建造物について、観光拠点としての整備を進めるため、美観向上整備に要する経費の一部を助成するもの。 | | |
| 定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で | | | |
| 本年度から令和元年度台風19号により被災した登録有形文化財 長明寺本堂及び経蔵において、仏教文化体験が可能な観光拠点とするための保存修理工事(漆喰壁塗装、建具修理他)を開始したため、工事内容について指導・助言を行った。 | | | |
| 進捗状況 ※計画年次との対応 | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) | | |
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない | | | |

状況を示す写真や資料等



長明寺本堂(修理前外観)



経蔵(修理前外観)



壁面破損状況(本堂/東面)



壁面破損状況・拡大(本堂/東面)

評価軸③-30
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

| | | |
|--------------------------|---|-------|
| | 評価対象年度 | 令和2年度 |
| 項目 | 現在の状況 | |
| 「彫工北村喜代松」制作の屋台等保存・公開活用事業 | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |

事業期間 平成25年度～令和4年度

支援事業名

計画に記載している内容 市有形文化財(工芸品)である「彫工北村喜代松」制作の神楽・屋台を保存するとともに、その木地を生かした「一木彫り」による透かし彫りの龍や唐獅子、牡丹など優れた技術の情報発信を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

毎年5月に行われている鬼無里神社の春の例大祭における屋台巡行は、コロナウィルス感染拡大防止のため中止となったものの、今後も屋台巡行を続けるため、屋台の柱のひび割れ補修や屋根の金属板葺きから和紙貼りへの葺き替えなど、修理工事を実施した。

なお、屋台修理工事は鬼無里ふるさと資料館の中で行い、一時的に屋台から外された緻密な彫刻を来館者が間近で見学できるよう保管場所や動線を調整した。また、工事期間中に現場見学会を行い、設計者や施工者から解説を聴くとともに、屋台の屋根に使用する和紙貼りを体験し、職人の伝統的な技術を体験できる貴重な機会となった。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



修理前



修理後



左上:ボルトによる柱のひび割れ補修
 右上:屋根の和紙貼り(上貼り)
 左下:現場見学会 和紙貼り体験の様子(R2.10.9)

評価軸③-31
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

| 項目 | 評価対象年度 | 令和2年度 |
|-------------------|--------|--|
| 鬼無里地域の伝統的な祭礼等PR事業 | | 現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 |

事業期間 平成25年度～令和4年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 白髯神社の祭礼、鬼無里神社の祭礼、諏訪神社の御柱祭をはじめとした、鬼無里地域に伝わる伝統的な祭礼について、パンフレット作成やインターネットを活用した情報発信を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

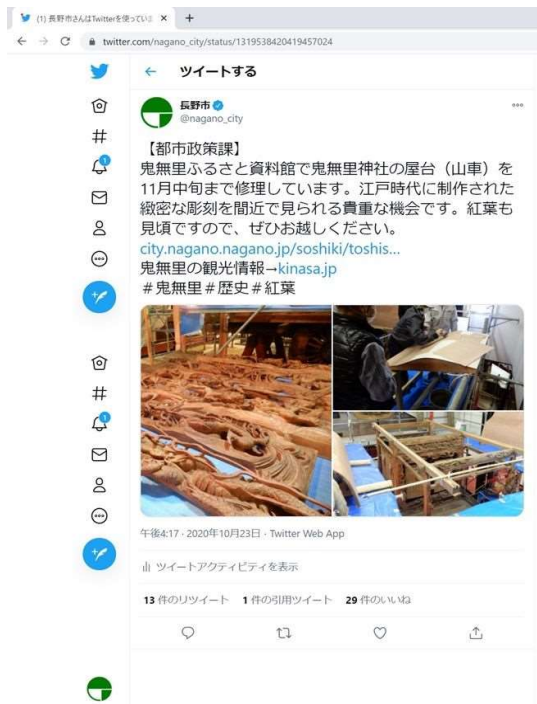
新型コロナウイルスに配慮し、白髯神社や鬼無里神社の祭礼は地元住民のみの開催にとどまったものの、鬼無里神社の祭礼で地区内を巡行する屋台の修理について、市のツイッターやホームページでの紹介、屋台の屋根に使用する和紙貼り体験を含む現場見学会(評価軸③-30)を行い、次年度以降の祭礼開催に向けた情報発信を行った。
○令和2年度実績:鬼無里神社屋台修理工事の現場見学会(10月9日) 参加者20名

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



長野市ツイッターによる鬼無里神社屋台修理工事の情報発信

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

| 項目 | 評価対象年度 | 令和2年度 |
|----------------------------------|--------|--|
| 文化財の保存(文化財調査・指定、保存管理(活用)計画等)について | | 現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 |

計画に記載している内容
 文化財は指定・未指定に関わらず、長野市の歴史と文化を理解する上で不可欠なものであり、幅広く情報を収集し、地域固有の財産として未来に受け継いでいくための取り組みを進める必要がある。具体的には、文化財の調査を行い、価値が認められたものについては、市の指定・国の登録制度等の活用を検討する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ・登録有形文化財(建造物)の登録:「善光寺鐘楼」・「善光寺仁王門」
- ・県宝に指定:「銅造阿弥陀如来及び両脇侍立像(長野市安茂里)」
- ※県宝指定により市指定を解除

進捗状況 ※計画年次との対応
 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



善光寺鐘楼(令和2年8月17日告示)



善光寺仁王門(令和2年8月17日告示)



銅造阿弥陀如来及び両脇侍立像
 県宝指定(令和2年9月28日告示)
 市指定解除(令和2年11月4日告示)

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

| | | 評価対象年度 | 令和2年度 |
|-------------------------|--|---|-------|
| 項目 | | 現在の状況 | |
| 文化財の保存整備(修理、修景、復元等)について | | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |

計画に記載している内容
 国指定等文化財の現状変更を伴う大規模な修理や整備等を実施する場合には、文化財保護法及び関係法令を遵守し、適切な手続きをとるとともに、文化庁や長野県教育委員会との連携のもと、整備委員会を設置して、専門の有識者より指導助言を得ながら実施する。県・市指定文化財については、地方文化財保護審議会の専門委員より適宜指導助言を得ながら修理等を実施する。長野市の歴史的風致を形成する歴史的風致形成建造物に指定するものについては、保存・活用のための修理に必要な支援を行っていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

下記の指定文化財の建造物・記念物等について、文化庁等の指導の下、計画的に保存修理を実施することにより、適切な保存活用を図ることができた。

- 指定文化財の保存整備事業 4件
 - ・国指定4件: 史跡旧文武学校保存整備、史跡松代城跡保存整備、史跡大室古墳群保存整備、旧横田家住宅保存修理工事
- 指定文化財の保存修理助成事業 2件
 - ・国宝: 善光寺本堂ほか保存活用・防災施設事業助成
 - ・国指定: 真田信之霊屋ほか保存修理事業助成
- 重要伝統的建造物群(戸隠地区)の保存修理助成事業 2件
- 令和元年東日本台風により被害を受けた物件の修理・保存等について、所有者・管理者及び国・県など関係機関との協議を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

■計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

状況を示す写真や資料等



旧文武学校の保存修理状況



旧横田家住宅の保存修理状況



重伝建(戸隠地区)の保存修理状況



長明寺(松代地区)の保存修理状況

評価軸④-4

文化財の保存又は活用に関する事項

| | | |
|-----------------|---|-------|
| | 評価対象年度 | 令和2年度 |
| 項目 | 現在の状況 | |
| 文化財の周辺環境の整備について | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |

計画に記載している内容

歴史的風致の維持及び向上を図るために実施する電線類地中化・道路美装化事業ないし水路等の整備事業、文化財の管理活用を目的とする便益施設等の設置においても文化財及びその周辺の歴史的景観との調和を図る。

〈善光寺戸隠地区〉
 ・道路や河川などの公共施設については、電線類地中化や道路の美装化によって、歴史的建造物と一体となった良好な整備を行っていく。

〈松代・若穂川田地区〉
 ・電線類地中化や道路の美装化等を順次進めていく。

〈鬼無里地区〉
 ・神社や寺院、民家等には古い建造物が多く残され、これまでに大規模開発も行われていないため、文化財の周辺環境も保全されているが、なお一層の地域住民の保全意識向上を図り、環境の保全に努める。

善光寺周辺地域において、道路美装化(評価軸③-5。一部繰越有り。)及び電線類地中化事業(評価軸③-6)を実施し、戸隠地区においては、道路美装化(評価軸③-8。一部繰越有り。)を実施して、文化財及びその周辺の歴史的景観との調和を図った。鬼無里地区において、歴史的な建造物の分布状況等を把握するための調査を行った。(評価軸③-2)

| | |
|--|--------------------------|
| 進捗状況 ※計画年次との対応 | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) |
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない | |

状況を示す写真や資料等

長野北98号線道路美装化工事(歩道部)

宝光社横大門通りの美装化(宝光社地区)



着工前



竣工



竣工

評価軸④-5

文化財の保存又は活用に関する事項

| 項目 | 評価対象年度 | 令和2年度 |
|----------------------|--------|--|
| 文化財の保存及び活用の普及、啓発について | | 現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 |

計画に記載している内容 文化財の非公開部分を対象とする期間限定の特別公開や、修理工事中の現地説明会、出前講座等を実施し、分かりやすい文化財情報の発信に努める。市内の各種団体も、住民と連携して文化財めぐりや講演会等を行っており、今後もこうした取り組みを続けていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ・旧文武学校リニューアルオープン(令和2年10月1日。評価軸③-17。)に先駆け、メディアに対して内覧会を実施した。(令和2年9月17日)
- ・戸隠地区において、茅の刈り取り方法や束ね方の体験と、文化財保護と歴史まちづくりの推進を図るためまち歩きを実施した。(評価軸③-10。約40名参加・令和2年11月7・8日)
- ・東町遺跡から弥生時代中期の絵画土器が発見され、長野市立博物館で開催する発掘調査速報展「私たちの町の考古学」にて特別展示を実施した。(令和2年12月4日～令和3年2月23日)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



旧文武学校内覧会の様子



戸隠地区での茅刈り体験の様子



発掘調査速報展で展示されている絵画土器



評価軸⑤-1

効果・影響等に関する報道

| | | 評価対象年度 | 令和2年度 |
|--------------------------------|------------|--------|-------|
| 報道等タイトル | 年月日 | 掲載紙等 | |
| 善光寺が防災に力 設備の更新・新導入へ | 令和2年4月7日 | 長野市民新聞 | |
| 戸隠神社「鳳輦」で神事 式年大祭でご神体を乗せる輿制作始まる | 令和2年5月5日 | 長野市民新聞 | |
| 重伝健の空き家活用 そば店が移転営業 | 令和2年5月28日 | 長野市民新聞 | |
| 鬼無里の観光ポスター好評 はがきに印刷 販売 | 令和2年5月28日 | 長野市民新聞 | |
| セントラルスクエア再整備完了 五輪の記憶・憩いの場所 | 令和2年5月30日 | 信濃毎日新聞 | |
| 善光寺御開帳「22年春」に 1年程度延期決定 | 令和2年6月3日 | 信濃毎日新聞 | |
| 松代3神社が御朱印 集めて町巡りを | 令和2年6月18日 | 長野市民新聞 | |
| 松代の5つの文化施設入場料最大2倍へ | 令和2年6月20日 | 長野市民新聞 | |
| 戸隠神社式年大祭予定通り来年春 | 令和2年7月3日 | 信濃毎日新聞 | |
| 弥栄神社のご祭礼始まる 屋台巡行は中止 | 令和2年7月9日 | 長野市民新聞 | |
| 市空き家バンク問い合わせ増 コロナなど影響 | 令和2年7月9日 | 長野市民新聞 | |
| 東参道に歩道新設 善光寺下駅一仁王門の一部 | 令和2年7月11日 | 長野市民新聞 | |
| 善光寺御開帳のポスターを発表 | 令和2年7月14日 | 長野市民新聞 | |
| 県関連6件含む「歴史の道百選」 | 令和2年7月26日 | 信濃毎日新聞 | |
| 善光寺放水銃で消防訓練 | 令和2年7月28日 | 信濃毎日新聞 | |
| 泉水の保全状況確認 守る会会員ら松代町内視察 | 令和2年7月30日 | 長野市民新聞 | |
| 真田ゆかり6城巡って御城印を 上田城や松代城今日から配布 | 令和2年8月4日 | 信濃毎日新聞 | |
| 松代真田まつりをコロナで中止 | 令和2年8月13日 | 長野市民新聞 | |
| 平和学習の行き先松代地下壕に 来月以降ガイド依頼3倍 | 令和2年8月25日 | 信濃毎日新聞 | |
| 御開帳 福井や関西でPR 長野・上越地域連携協 | 令和2年9月1日 | 信濃毎日新聞 | |
| 戸隠神社中社新たな大鳥居 | 令和2年9月2日 | 信濃毎日新聞 | |
| 鬼無里の祭り屋台修理 老朽化で25年ぶり | 令和2年9月15日 | 長野市民新聞 | |
| にぎわう中心市街地 獅子舞に音楽やアート | 令和2年9月24日 | 長野市民新聞 | |
| 松代文武学校リニューアル | 令和2年9月24日 | 長野市民新聞 | |
| 式年大祭 周遊バス運行を検討 戸隠神社と市内観光地を結ぶ | 令和2年9月24日 | 長野市民新聞 | |
| 長野県立美術館に 名称決定 来春から | 令和2年10月13日 | 長野市民新聞 | |
| 歴史的町並みを生かそう 松代でフォーラム 課題共有 | 令和2年10月15日 | 信濃毎日新聞 | |
| 松代巡るバスツアー 給付金使い安価に | 令和2年10月20日 | 長野市民新聞 | |
| 神社屋台の内部公開 鬼無里の市文化財 | 令和2年10月20日 | 長野市民新聞 | |
| 箏や日本舞踊子供らが披露 芸術館で | 令和2年10月22日 | 長野市民新聞 | |
| 古民家活用へ協議会 県など専門家相談を充実 | 令和2年10月23日 | 信濃毎日新聞 | |
| 松代の景観賞に4件 中心市街地活性化協 | 令和2年10月31日 | 長野市民新聞 | |
| 若穂に催しスペース 旧信濃川田駅東隣 | 令和2年10月31日 | 長野市民新聞 | |
| 善光寺表参道イルミネーションスタート | 令和2年11月7日 | 長野市民新聞 | |
| 若穂川田に設置決定 スマートIC | 令和2年11月7日 | 信濃毎日新聞 | |
| 景観の維持へ戸隠でカヤ刈り 延べ40人が体験 | 令和2年11月19日 | 長野市民新聞 | |
| 長野市IT活用し周遊 御開帳に合わせ導入検討 | 令和2年12月4日 | 信濃毎日新聞 | |

「歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事業」の取り組みを始め、歴史まちづくりに関する地域独自の活動等に係る取り組みも含め多くの記事が各紙に掲載された。特に善光寺御開帳の開催延期や国指定史跡旧文武学校のリニューアルオープンについては大きく報道された。コロナウイルス感染症の渦中ではあるが、歴史的風致の維持及び向上に関する内容は連日紙面に掲載され、市民の意識向上に寄与している。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等



長野市民新聞 R2.9.24記事 ※転載許可



長野市民新聞 R2.6.4記事 ※転載許可

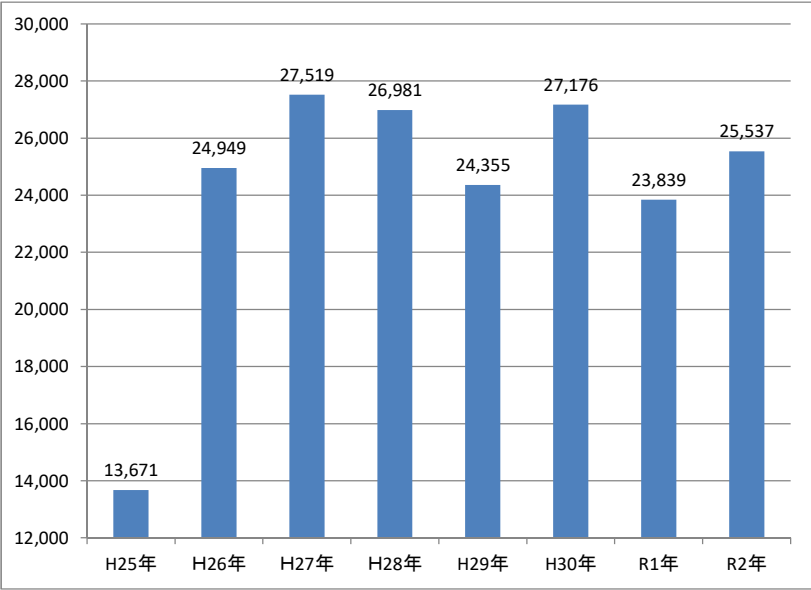


長野市民新聞 R2.11.3記事 ※転載許可



長野市民新聞 R2.9.15記事 ※転載許可

評価軸⑥-1

| 項目 | | 評価対象年度 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|---|--------|----|-------|------|--------|------|--------|------|--------|------|--------|------|--------|------|--------|-----|--------|-----|--------|
| 善光寺仁王門前の歩行者通行量の推移 | | 令和2年度 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 計画に記載している内容 | <p>定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付</p> <p>平成29年度以降の歩行者通行量の推移は、平成29年度が雨天、令和元年度東日本台風、令和2年度がコロナウイルス感染症の流行と、例外的な要素に少なからず影響されていると考えられ、善光寺周辺地域道路美化事業(評価軸③-5)、善光寺周辺地域電線類地中化事業(評価軸③-6)、善光寺表参道地域交流拠点整備事業(評価軸③-7)、城山公園再整備事業(評価軸③-13)などと歩行者通行量の増減の関連性の特定が困難となっている。各種事業が歩行者通行量に与える影響をより長期的な視点で捉える必要がある。</p> <p>○平成2年度実績 善光寺仁王門前の歩行者通行量調査(毎年10月第3日曜日実施) 歩行者人数:25,537人</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 進捗状況 ※計画年次との対応 | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 状況を示す写真や資料等 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|  <table border="1"> <caption>善光寺仁王門前歩行者通行量調査(H25～R2)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>歩行者人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H25年</td> <td>13,671</td> </tr> <tr> <td>H26年</td> <td>24,949</td> </tr> <tr> <td>H27年</td> <td>27,519</td> </tr> <tr> <td>H28年</td> <td>26,981</td> </tr> <tr> <td>H29年</td> <td>24,355</td> </tr> <tr> <td>H30年</td> <td>27,176</td> </tr> <tr> <td>R1年</td> <td>23,839</td> </tr> <tr> <td>R2年</td> <td>25,537</td> </tr> </tbody> </table> | | | 年度 | 歩行者人数 | H25年 | 13,671 | H26年 | 24,949 | H27年 | 27,519 | H28年 | 26,981 | H29年 | 24,355 | H30年 | 27,176 | R1年 | 23,839 | R2年 | 25,537 |
| 年度 | 歩行者人数 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| H25年 | 13,671 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| H26年 | 24,949 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| H27年 | 27,519 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| H28年 | 26,981 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| H29年 | 24,355 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| H30年 | 27,176 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| R1年 | 23,839 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| R2年 | 25,537 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

法定協議会等におけるコメント

(様式2)

評価対象年度 | 令和2年度

・法定協議会等におけるコメント

コメントが出された会議等の名称:

会議等の開催日時:

(コメントの概要)

(今後の対応方針)